




AKAI
PROFESSIONAL

MPO 232

ユーザ・ガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://akai-pro.jp/>

AKAI
PROFESSIONAL

＜お問い合わせ＞

インミュージック ジャパン

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

ユーザ・ガイド

はじめに

同梱品

- ・ MPD232
- ・ USB ケーブル
- ・ 1/8" - MIDI 変換ケーブル x 2
- ・ Software Download Cards (英文)
- ・ User Guide (英文)
- ・ Safety & Warranty Manual (英文)

重要：MPD232 の製品ページ (akai-pro.jp/mpd232) にアクセスして、MPD232 Editor ソフトウェアをダウンロードしてください。

サポート

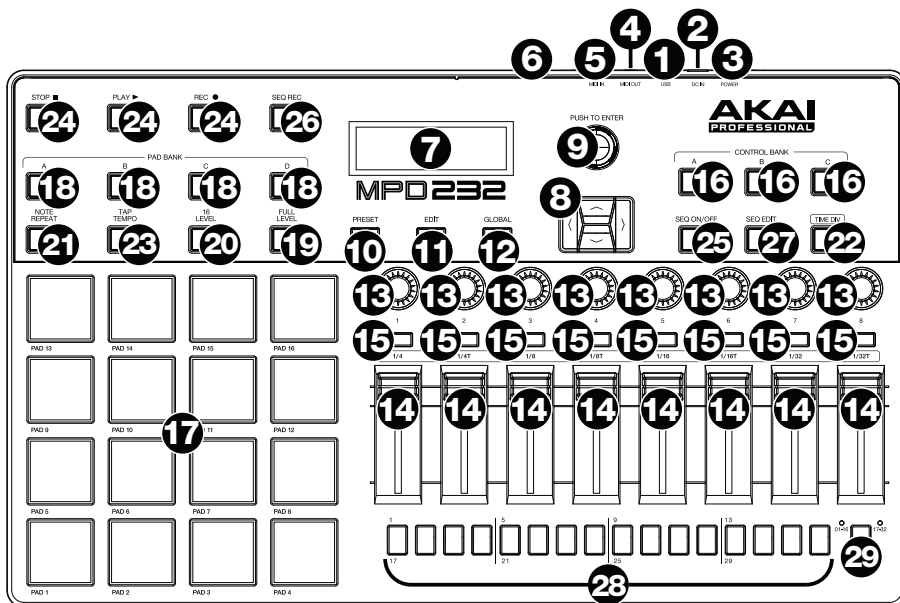
製品の最新情報（システム要件や互換性情報など）は、AKAI professional のホームページ (akai-pro.jp) にてご確認ください。また、製品のサポートについては akai-pro.jp/support をご参照ください。

クイック・スタート

1. 付属の USB ケーブルを使用して、MPD232 の **USB** 端子とコンピュータの USB 端子を接続します。
2. コンピュータで DAW ソフトウェアを起動します。
3. DAW の設定画面で **MPD232** を MIDI 入力デバイスとして設定します。

ヒント：MPD232 を iOS デバイスと使用する場合は、以下の手順で接続します。

1. MPD232 の **上カーソルボタン**を押したまま、
2. Apple iPad Camera Connection Kit (別売) を装着した iOS デバイスと接続します。
3. MPD232 の電源を入れ、**上カーソルボタン**から手を離します。



1. **USB 端子**：標準的な USB ケーブルを使用して、コンピュータの USB 端子と接続します。この端子で、電源の供給とデータの送受信を行います。USB ハブを経由して接続する場合は、お使いの USB ハブがセルフパワータイプであることを確認してください。
2. **AC アダプタ端子**：別売の AC アダプタ (DC6V、1A、センタ+) をここに接続します。AC アダプタを接続することで、コンピュータを併用せずに、外部 MIDI デバイスのコントローラとして動作します。
3. **電源スイッチ**：このボタンを押して、MPD232 の電源のオン・オフを行います。
4. **MIDI 出力端子**：付属の 1/8" - MIDI 変換ケーブルと 5 ピンの MIDI ケーブル (別売) を使用して、外部 MIDI デバイス (シンセサイザ、シーケンサ、ドラムマシンなど) の MIDI 入力端子と接続します。この端子に MPD232 の MIDI 信号を送出するには、各操作子の Edit モードの中で、「MIDI to DIN」の項目を **On** にします。詳しくは、後述の **操作 > エディットモード** の項目をご参照ください。
重要：この端子にオーディオデバイス (特にヘッドフォンやスピーカなど) を接続しないでください。本体およびオーディオデバイスが故障する恐れがあります。必ず、付属の 1/8" - MIDI 変換ケーブルを接続してください。
5. **MIDI 入力端子**：付属の 1/8" - MIDI 変換ケーブルと 5 ピンの MIDI ケーブル (別売) を使用して、外部 MIDI デバイス (シンセサイザ、シーケンサ、ドラムマシンなど) の MIDI 出力端子と接続します。ここから入力された MIDI 信号は、USB ケーブルを通じてコンピュータに入力されます。
重要：この端子にオーディオデバイス (特にヘッドフォンやスピーカなど) を接続しないでください。本体およびオーディオデバイスが故障する恐れがあります。必ず、付属の 1/8" - MIDI 変換ケーブルを接続してください。
6. **Kensington Lock**：Kensington Lock を使用する際は、このスロットを使用します。
7. **ディスプレイ**：MPD232 のメニューやオプション、パラメータなどを表示します。

8. **カーソル**：これらのボタンを使用して、ディスプレイ内の項目を移動します。
9. **データダイヤル**：このダイヤルでパラメータの値や設定などを変更します。また、ダイヤルを押すことで、値や設定を決定します。
10. **PRESET**：このボタンを押して、プリセットモードに入ります。詳しくは、**操作 > プリセットモード**の項目をご参照ください。
11. **EDIT**：このボタンを押して、エディットモードに入ります。詳しくは、**操作 > エディットモード**の項目をご参照ください。
12. **GLOBAL**：このボタンを押して、グローバルモードに入ります。詳しくは、**操作 > グローバルモード**の項目をご参照ください。
13. **コントロール・ノブ**：これらの 360°回転のノブを使用して、ソフトウェアや外部 MIDI デバイスに MIDI 情報を送信します。
14. **フェーダ**：これらのフェーダを使用して、ソフトウェアや外部 MIDI デバイスに MIDI 情報を送信します。
15. **スイッチ**：これらのスイッチを使用して、ソフトウェアや外部 MIDI デバイスに MIDI 情報を送信します。**TIME DIV** ボタンが点灯している場合は、これらのスイッチで NOTE REPEAT 機能のタイムディビジョンを設定します。これらのボタンを一度押すと点灯し、それぞれ 4 分音符、8 分音符、16 分音符、32 分音符を、もう一度押すと点滅し、それぞれの三連符を、設定します。
16. **コントロールバンク (CTRL BANK)**：このボタンを使用して、**コントロール・ノブ**、**フェーダ**、**スイッチ** の 3 つのバンクを切り替えます。これにより、計 72 の MIDI パラメータにアクセスできます。
17. **パッド**：これらのパッドで、接続しているソフトウェアや外部 MIDI 音源のドラム音やその他のサンプルをトリガします。パッドは、ベロシティとプレッシャーに対応していますので、反応が速く、直感的なプレイが可能です。
18. **PAD BANK**：このボタンを使用して、パッドの 4 つのバンクを切り替えます。これにより、計 64 の異なるパッドにアクセスできます。
19. **FULL LEVEL**：このボタンを押すことで、FULL LEVEL 機能をオンにします。FULL LEVEL 機能がオンになると、パッドを叩く強さに関わらず、最大ベロシティ (**127**) を出力します。
20. **16 LEVEL**：このボタンを押すと、16 LEVEL 機能がオンになり、最後に叩いたパッドの設定が、一時的に 16 個すべてのパッドにコピーされます。すべてのパッドは、最後に叩いたパッドと同じノート・ナンバしか出力できなくなりますが、叩く強さに関係なく、パッドの並び順にベロシティが 16 段階で出力されます。パッド 1 が一番低く、パッド 16 はフルレベル (ベロシティ 127) で出力されます。
21. **NOTE REPEAT**：このボタンを押しながらパッドを押すと、現在のテンポおよびタイムディビジョンの設定に基づくタイミングで、サンプルが繰り返しトリガされます。このボタンは、モーメンタリ・モードとトグル (ラッチ) ・モードで切り替えが可能です。
ヒント：NOTE REPEAT 機能は、外部 MIDI クロックソースにも同期します。
22. **TAP TEMPO**：このボタンをタップすることで、テンポを指定できます。
重要：この機能は、クロックソースが External に設定されている場合 (外部 MIDI デバイスに同期している場合) には動作しません。

23. **タイムディビジョン (TIME DIV)** : このボタンを押すことで、上の 4 つのスイッチは NOTE REPEAT の音符設定ボタンとして機能します。モーメンタリ・モードとトグル (ラッチ)・モードで切り替えが可能です。また、タイムディビジョン (TIME DIV) がオンになっている場合は、4 つのスイッチは MIDI 情報を送信しません。
24. **トランスポート・コントロール・ボタン** : この 3 つのボタンで、トランスポート・コントロール情報 (停止、再生、録音) を送信します。これらの送信情報は、MMC、MMC/MIDI、MIDI Real Time、MIDI CC、PTEX (Pro Tools Express) の中からから選択可能です。
25. **SEQ ON/OFF** : このボタンを押すことで、MPD232 のシーケンサのオン・オフを切り替えます。詳しくは、**操作 > シーケンサ**の項目をご参照ください。
26. **SEQ REC** : このボタンを押すことで、MPD232 のシーケンサの再生や録音を行います。詳しくは、**操作 > シーケンサ**の項目をご参照ください。
27. **SEQ EDIT** : このボタンを押すことで、シーケンス・エディットモードに入ります。詳しくは、**操作 > シーケンサ**の項目をご参照ください。
28. **ステップボタン** : これらステップボタンを押すことで、シーケンスのステップのオン・オフを切り替えます。**ステップバンク・ボタン**を押すことで、これら 16 個のボタンを、**ステップ 1~16** とするかまたは**ステップ 17~32** とするか切り替えが可能です。詳しくは、**操作 > シーケンサ**の項目をご参照ください。
29. **ステップバンク** : このボタンを押すことで、ステップボタンのバンク (**ステップ 1~16**、または**ステップ 17~32**) を切り替えます。どちらのバンクが選ばれているかは LED で表示します。詳しくは、**操作 > シーケンサ**の項目をご参照ください。

操作

MPD232 には、以下の 3 つのモードがあり、それぞれボタンで選択できます。各モードについては後述の各項目をご参照ください。

プリセットモードは、プリセットの呼び出し、保存、コピーや名前の変更などを行い、フェーダやノブ、ボタン、パッドなどの設定状況を表示します。

エディットモードは、MPD232 のパッド、ノブ、フェーダ、ボタンなどの設定を行います。

グローバルモードは、MIDI コモンチャンネルや MIDI クロック設定、パッドのペロシティ・カーブや感度など、MPD232 の基本設定を行います。

プリセットモード

プリセットモードでは、プリセットの呼び出し、保存、コピーや名前の変更などを行います。プリセットは、各フェーダやノブ、パッドなどの設定をまとめて管理します。異なる設定をそれぞれプリセットとして保存し、それらを簡単に呼び出して、素早く切り替えることができます。

プリセットを呼び出すには：

1. **PRESET** ボタンを押し、プリセットモードに入ります（通常、電源を入れると MPD232 はプリセットモードで起動します）。
2. **データダイヤル**で目的のプリセットを**ディスプレイ**に表示させます。
3. **データダイヤル**を押し、プリセットを選択します。操作をキャンセルし、現在のプリセットに戻るには、**PRESET** ボタンを押すか数秒間どのボタンに触れずに待ちます。

プリセットを編集するには、後述の**エディットモード**で行います。

プリセットを保存するには：

重要：プリセットを編集した後は必ず保存してください。

1. **PRESET** ボタンを押し、プリセット・モードに入ります。
2. **右カーソルボタン**を押し、ディスプレイに **Store Program** と表示させます。
3. **上下カーソルボタン**を使用して、保存先 (**Save To**) またはプリセット名 (**Name**) の項目に移動します。
 - **保存先 (Save To)：**データダイヤルを使用して、保存先のプリセットを選択します。現在と同じプリセットを選択すると、上書き保存されます。
 - **プリセット名 (Name)：**ダイヤルを回して点滅している文字を変更します。**左右のカーソルボタン**で変更する文字を移動します。
4. **データダイヤル**を押し保存します。保存後は、自動的にプリセットモードに戻ります。

エディットモード

1. **EDIT** ボタンを押し、エディットモードに入ります。
2. エディットしたい操作子を押し動かすかして選択します。**ディスプレイ**には対応する設定可能なパラメータが表示されます。
エディットモードの各ページにおいて：
 - **上下カーソルボタン**で現在のページ内のパラメータを移動できます。
 - 複数のページがある場合 (**Pg1** や **Pg2**…), **左右カーソルボタン**でページを移動することができます。
 - **データダイヤル**を回すことで、現在選択されている値を変更します。設定はすぐに反映されます。
3. 他の操作子を設定するには、上の**ステップ 2**の操作を繰り返します。

各操作子における設定可能なパラメータについては、以下の各項目をご参照ください。

パッド (01~64)

Type : パッドを押し送出する MIDI 情報の種類を設定します。**Note** (ノート)、**Program Change** (プログラム・チェンジ)、**Program Bank** (プログラム・バンク) の中から設定可能です。

MIDI Channel : パッドから送出される MIDI 情報の MIDI チャンネルを設定します。**Common**、**USB A1~16**、**USB B1~16** から選択します。

Note : 上の **Type** で **Note** が選ばれている場合、ここで、ノートナンバを設定します。

Aftertouch (Aft) : 上の **Type** で **Note** が選ばれている場合、ここで、アフタータッチ情報を送出するかどうかを設定します。**Off**、**Chn** (チャンネル・アフタータッチ)、**Poly** (ポリ・アフタータッチ) の中から設定可能です。

Program Number (または Pgm) : 上の **Type** で、**Program Change** または **Program Bank** が選ばれている場合、ここでプログラム・ナンバを設定します (**000~127**)。

Msb / Lsb : 上の **Type** で、**Program Bank** が選ばれている場合、ここで **MSB** (Most Significant Bit) および **LSB** (Least Significant Bit) を設定します (**000~127**)。

MIDI to DIN : パッドから送出される MIDI 情報を、背面の MIDI 出力端子経由で送出するかどうかを設定します。この設定にかかわらず、USB 経由で MIDI 信号は送出されます。

On Color / Off Color : パッドを押しした時 (On) と離した時 (Off) の LED の色を設定します。**Off**、**Red**、**Orange**、**Amber**、**Yellow**、**Green**、**Green Blue**、**Aqua**、**Light Blue**、**Blue**、**Purple**、**Pink**、**Hot Pink**、**Light Purple**、**Light Green**、**Light Pink**、**Grey** の中から設定します。

Note Mode : 上の **Type** で、**Note** が選ばれている場合、パッドの挙動を、**Momentary** モード (パッドを押しした瞬間に Note On 情報が送出され、離すと Note Off 情報が送出される) か、**Toggle** モード (一度パッドを押すと Note On 情報が送出され、次にもう一度押した時に Note Off 情報が送出される) に設定します。

フェーダ (01~24)

Type:フェーダを操作して送出する MIDI 情報の種類を設定します。**MIDI CC**、**Aftertouch**(アフタータッチ)の中から設定します。

MIDI Channel:フェーダを操作して送出される MIDI 情報の MIDI チャンネルを設定します。**Common**、**USB A1~16**、**USB B1~16** から選択します。

CC Number:上の Type で、**MIDI CC** が選ばれている場合、ここで、送出する MIDI CC (コントロール・チェンジ) 情報を設定します (**000~127**)。

Min / Max:上の Type で、**Aftertouch** が選ばれている場合、送出される情報の最低値 (**Min**) と最大値 (**Max**) を設定します (**000~127**)。

MIDI to DIN:フェーダを操作して送出される MIDI 情報を、背面の MIDI 出力端子経由で送出するかどうかを設定します。この設定にかかわらず、USB 経由で MIDI 信号は送出されます。

スイッチ (01~24)

Type:スイッチを操作して送出する MIDI 情報の種類を設定します。**CC**、**Note**、**PrgChange**(プログラム・チェンジ)、**PrgBank** (プログラム・バンク)、**KeyStroke** の中から設定します。

MIDI Channel:スイッチを操作して送出される MIDI 情報の MIDI チャンネルを設定します。**Common**、**USB A1~16**、**USB B1~16** から選択します。

Note:上の Type で、**Note** が選ばれている場合、ここで、ノートナンバを設定します。

Velo (Velocity):上の Type で、**Note** が選ばれている場合、ここで、ベロシティを設定します (**000~127**)。

CC Number:上の Type で、**CC** が選ばれている場合、ここで、送出する MIDI CC (コントロール・チェンジ) 情報を設定します (**000~127**)。

MIDI to DIN:スイッチを操作して送出される MIDI 情報を、背面の MIDI 出力端子経由で送出するかどうかを設定します。この設定にかかわらず、USB 経由で MIDI 信号は送出されます。

Mode:上の Type で、**CC** または **Note** が選ばれている場合、スイッチの挙動を、**Momentary** モード (スイッチを押した瞬間に On 情報が送出され、離すと Off 情報が送出される) か、**Toggle** モード (一度スイッチを押すと On 情報が送出され、次にもう一度押した時に Off 情報が送出される) に設定します。

Invert:上の Type で、**CC** が選ばれている場合、スイッチがオフの時に「000」の値を、オンの時に「127」を送出しますが、これを逆にしたい場合に、この設定をオンにします。

Program Number (または Pgm):上の Type で、**PrgChange** または **PrgBank** が選ばれている場合、ここでプログラム・ナンバを設定します (**000~127**)。

Msb / Lsb:上の Type で、**Program Bank (PrgBank)** が選ばれている場合、ここで **MSB** (Most Significant Bit) および **LSB** (Least Significant Bit) を設定します (**000~127**)。

Key#1:上の Type で、**KeyStroke** が選ばれている場合、ここで、送出するキーストロークを設定します。**0~9**、**A~Z**、**F1~F12**、**Backspace**、**Return**、**Up Arrow**、**Down Arrow**、**Left Arrow**、**Right Arrow**、**Tab**、各記号(.,/[]\' ; - =)、**Esc**、**Insert**、**Home**、**Page Up**、**Delete**、**End**、**Page Down**、**Num 0~9**の中から設定します。

Key#2 : 上の Type で、**KeyStroke** が選ばれている場合、ここで、上の **Key#1** で設定したキーストロークと同時に送出するモディファイ・キーを設定します。**None**、**Control**、**Shift**、**Alt**、**Option**、**Control-Shift**、**Control-Alt**、**Control-Option**、**Shift-Alt**、**Shift-Option**、**Alt-Option**、**Control-Option-Alt**、**Control-Shift-Alt**、**Control-Shift-Option** の中から設定します。

ヒント : HID (Human Interface Device) プロトコルは、標準的なコンピュータのキーボードのキー情報を送信します。USB ゲームコントローラなどがこれの一例で、コンピュータのキーボードの代用として動作します。MPD232 はこの HID プロトコルに対応し、ソフトウェアのキーボード・ショートカットなどを、コンピュータのキーボードを使わずに MPD232 だけで送信することが可能です。

ノブ (01~24)

Type : ノブを回して送出する MIDI 情報の種類を設定します。**MIDI CC**、**Aftertouch** (アフタータッチ)、**INC/DEC1**、**INC/DEC2** の中から設定します。

MIDI Channel : ノブから送出される MIDI 情報の MIDI チャンネルを設定します。**Common**、**USB A1~16**、**USB B1~16** から選択します。

CC Number : 上の Type で、**MIDI CC** または **INC/DEC2** が選ばれている場合、ここで、送出する MIDI CC (コントロール・チェンジ) 情報を設定します (**000~127**)。

MIDI to DIN : ノブを回して送出する MIDI 情報を、背面の MIDI 出力端子経由で送出するかどうかを設定します。この設定にかかわらず、USB 経由で MIDI 信号は送出されます。

Min / Max : 上の Type で、**MIDI CC** または **Aftertouch** が選ばれている場合、ノブを回して送出される情報の最低値 (**Min**) と最大値 (**Max**) を設定します (**000~127**)。

Msb / Lsb : 上の Type で、**INC/DEC1** が選ばれている場合、ここで **MSB** (Most Significant Bit) および **LSB** (Least Significant Bit) を設定します (**000~127**)。

Valute : 上の Type で、**INC/DEC1** が選ばれている場合、増加 (CC#96) もしくは減少 (CC#97) によって送信される値を設定します (**000~127**)。

Note Repeat (ノート・リピート)

Time Division : NOTE REPEAT 機能における音符の単位を設定します。**1/4**、**1/4T**、**1/8**、**1/8T**、**1/16**、**1/16T**、**1/32**、**1/32T** の中から設定します (T は 3 連符を表します)。

ヒント : Tap Tempo (タップ・テンポ) のパラメータでも設定可能です。詳しくはエディットモード:**Tempo** (タップ・テンポ) の項目をご参照ください。

Mode : NOTE REPEAT ボタンの挙動を、**Momentary** モード (スイッチを押している間だけノート・リピートがオンになる) か、**Toggle** モード (一度スイッチを押すとノート・リピートがオンになり、次にもう一度押した時にノート・リピートがオフになる) に設定します。

Gate : NOTE REPEAT 機能における音の長さを設定します。上の Time Division で設定した音符に対して **00~99%** の範囲で設定できます。

Swing : NOTE REPEAT 機能におけるスイングの値を設定します (**50%~75%**)。

Tempo (TAP TEMPO / タップ・テンポ)

重要：グローバル・モードにもテンポに関するパラメータを設定する項目がありますが、グローバル・モードでの設定はプリセットには保存されません。詳しくは**グローバルモード > Tempo (テンポ)** の項目をご参照ください。

BPM：テンポを設定します (30~300)。

ヒント：BPM はタップ・テンポ・ボタンをテンポに合わせて数回押すことで設定することも可能です。

Time Division：NOTE REPEAT 機能における音符の単位を設定します。1/4、1/4T、1/8、1/8T、1/16、1/16T、1/32、1/32T の中から設定します (T は 3 連符を表します)。

ヒント：NOTE REPEAT ボタンのパラメータでも設定可能です。詳しくは**エディットモード > Note Repeat (ノート・リピート)** の項目をご参照ください。

Gate：NOTE REPEAT 機能における音の長さを設定します。上の Time Division で設定した音符に対して 00~99% の範囲で設定できます。

Swing：NOTE REPEAT 機能におけるスイングの値を設定します (50%~75%)。

Transport (トランスポート・コントロール / 停止、再生、録音)

Type：トランスポート・ボタンを押して送出する MIDI 情報の種類を設定します。MMC、MMC/MIDI、MIDI Real Time、MIDI CC、PTEX (Pro Tools Express) の中から設定します。

MIDI to DIN：トランスポート・ボタンを押して送出される MIDI 情報を、背面の MIDI 出力端子経由で送出するかどうかを設定します。この設定にかかわらず、USB 経由で MIDI 信号は送出されます。

Sequence Edit (STEP BANK)

Steps：シーケンスのステップ数を設定します (01~32)。

Start/Stop：シーケンスを再生・停止させるコマンドです。Seq On/Off に設定した場合は本体の SEQ ON/OFF ボタンで、Play/Stop に設定した場合は、本体の PLAY ボタンや STOP ボタンで操作が可能になります。MIDI Start/Stop に設定した場合は、外部から MIDI Start または MIDI Stop メッセージを受信した際に動作します。

StepView：Chase で、シーケンス再生中のステップボタンのふるまいを設定します。Off の場合、ステップボタンはステップ 1~16 または 17~32 だけを表示し、ステップバンク・ボタンで切り替える必要があります。On の場合は、シーケンスの再生に合わせてステップが移動して表示されます。

Sequence Edit (SEQ REC)

このページでは、シーケンスの各ステップに配置されたパッドを消去可能です。データダイヤルで目的のパッド番号 (01~64) または All を選び、ダイヤルを押すことで確認画面になります。この操作は取り消しできませんのでご注意ください。

グローバルモード

グローバルモードでは、MPD232 の一般的な設定を行います。この設定は特定のプリセットではなく、すべてのプリセットに影響があります。

グローバルモードの各項目を設定するには：

1. **GLOBAL** ボタンを押して、グローバルモードに入ります。
2. グローバル・モードの各ページにおいて：
 - **上下カーソルボタン**で現在のページ内のパラメータを移動できます。
 - **左右カーソルボタン**でページを移動することができます。
 - **データダイヤル**を回すことで、現在選択されている値を変更します。
3. 新しいグローバルモードの設定を保存するには、左右カーソルボタンで **Save Globals** ページを選択し、**データダイヤル**を押して、保存を実行します。操作をキャンセルするには、**左右カーソルボタン**で別のページに移動して、**GLOBAL** ボタンを押します。

設定可能なパラメータについては、以下の各項目をご参照ください。

MIDI Channels (MIDI チャンネル)

Common Chnl (Channel)：MIDI コモン・チャンネルの設定を行います。**USB A1~16、USB B1~16** から選択します。

Note Display (ノート・ディスプレイ)

Type：ノートナンバーの表示を、音階 (**Value**) で表示するか (例：C2、F#3 など)、数値 (**Number**) で表示するか (例：36、54 など) を設定します。

Pads (パッド)

重要：エディットモードで設定したパッドのパラメータは、そのプリセットに保存され、グローバル設定には保存されません。詳しくは**エディットモード：パッド**の項目をご参照ください。

Threshold：パッドが反応する「叩く強さの最小値」を設定します (**0~10**)。例えば、パッド演奏中に意図しない「ゴーストノート」が鳴ってしまう場合などは、この値を大きく設定します。

Pad Curve：パッドのベロシティカーブの設定を行います。**Linear** (リニア)、**S-curve** (S 字カーブ)、**Log 1** (ログ 1)、**Log 2** (ログ 2)、**EXP 1** (エクスポネンシャル 1)、**EXP 2** (エクスポネンシャル 2) の中から設定可能です。

Pad Gain：パッド全体のベロシティに対する感度の設定を行います (**00~20**)。この値が高いと感度が高くなり最大ベロシティが出やすくなります。

Tempo (テンポ)

重要：エディットモードで設定したテンポのパラメータは、そのプリセットに保存され、グローバル設定には保存されません。詳しくは**エディットモード：パッド**の項目をご参照ください。

Tempo：グローバルのテンポを設定します（**30～300**）。

Tap Average：TAP TEMPO ボタンを押した際、テンポが算出されるまでのタップ回数を設定します（**2～4**）。

Tempo LED：本機の MIDI クロック設定が Internal に設定されている場合に、TAP TEMPO ボタンがテンポに合わせて点滅する動作の**オン/オフ**設定を行います。

Clock (クロック)

Source：MPD232 のクロックを、**Internal**（内部クロック）か **External**（外部クロック）に切り替えます。外部 MIDI デバイスのテンポに合わせて動作させるには、External（外部クロック）に設定します。

SysEx (システム・エクスクルーシブ)

Send Program：SysEx（システム・エクスクルーシブ）で MPD 本体のプログラムデータの送信を行います。送信は MPD 本体のプログラムの番号を指定して個別に行うか（**01～20**）、**ALL** を選択して、一度にすべてのプログラムの送信を行います。**データダイヤル**を押して送信を開始します。

Utilities (ユーティリティ)

Contrast：液晶ディスプレイのコントラストの調整を行います（**0～99**）。

Save Globals (グローバル設定の保存)

このページで、データダイヤルを押して、変更したグローバル設定の保存を行います。

Reset Globals (グローバル設定の初期化)

このページで、データダイヤルを押して、グローバル設定を工場出荷時に戻します。

OS

このページで、本機のオペレーティングシステム情報を確認できます。

シーケンサ

MPD232 には、パワフルなステップ・シーケンサが搭載されており、素早く簡単にシーケンスの制作や編集、再生が行えます。シーケンストとは、曲の一部として利用可能なパターンのことを指します。ある曲ではひとつのシーケンスを繰り返し使うこともあるでしょうし、またある曲ではいくつかのシーケンスを複雑に組み合わせて使うこともあるでしょう。MPD232 のシーケンスは、最大 32 ステップのノートイベントを再生可能です。

シーケンスを作成する前に、ふたつのパラメータを決めなくてはなりません。それは、長さ（後述の**ステップ**の項目参照）とタイミングの設定（後述の**タイミング**の項目参照）です。

直感的にシーケンスを作成するには、MPD232 のパッドをリアルタイムに叩いて記録することですが（後述の**レコーディング**の項目参照）、ステップボタンを使って正確にひとつずつステップを組み立てて編集していくことも可能です（後述の**編集**の項目参照）。

ステップ

MPD232 のシーケンスは、**ステップボタン**を使用して一度に 16 ずつ、32 のステップを記録できます。ステップボタンは、選択したパッドがステップにどう配置されたかを表示し、ステップボタンを押すことで、簡単にイベントを追加したり除いたりすることができます。

シーケンスのステップ数を設定するには：

1. **EDIT** ボタンを押してエディットモードに入ります。
2. **ステップバンク・ボタン**を押すと、ディスプレイの上段に **Sequence Edit** と表示されます。
3. 上下カーソルボタンで **Steps** を選択します。
4. **データダイヤル**でステップ数を設定します（01～32）。このウィンドウで、シーケンサの再生・停止をどのボタンで行うかの設定も可能です。詳しくは、**エディットモード > Sequence Edit (STEP BANK)** の項目をご参照ください。

タイミング

MPD232 のシーケンサには、四つのタイミングに関するパラメータがあります。**テンポ**、**タイム・ディビジョン**、**スイング**、**ゲート**です。これらはプログラムごとに保存され、また NOTE REPEAT 機能にも同時に反映されます。

タイミングの設定を行うには：

1. **EDIT** ボタンを押してエディットモードに入ります。
2. **TAP TEMPO** ボタンを押すと、ディスプレイの上段に **Tempo** と表示されます。
3. 上下カーソルボタンで四つのフィールドのいずれかを選択し、**データダイヤル**で値を変更します。
 - **BPM**：テンポを設定します（30～300）。
 - **Time Division**：NOTE REPEAT 機能における音符の単位を設定します。1/4、1/4T、1/8、1/8T、1/16、1/16T、1/32、1/32T の中から設定します（T は 3 連符を表します）。
 - **Gate**：シーケンスにおける音の長さを設定します。上の Time Division で設定した音符に対して 00～99% の範囲で設定できます。00 では短いスタッカートになり、99 では長いレガートになります。50% が初期設定値です。
 - **Swing**：シーケンスのスイング（シャッフル、またはハネ具合）を設定します（50%～75%）。タイム・ディビジョンで 3 連符が選ばれている場合は、スイングは適用されません。

レコーディング

リアルタイムにシーケンスを記録するには：

1. **SEQ REC** ボタンを押します。直ちにシーケンサの記録が始まり、**SEQ ON/OFF** ボタンが点灯します。もし、エディットモードで、シーケンスの再生・停止を **Play/Stop** や **MIDI Start/Stop** に設定した場合は、**PLAY** ボタンを押すか **MIDI Start** メッセージを受信しないと、記録は始まりません。
2. **パッド**を叩いてノートイベントを記録します。叩く強さはベロシティとして記録されます。同時に複数のパッドの再生と記録ができ、**ステップボタン**は最後に叩いたパッドのイベントを表示します。シーケンスは、停止するまで繰り返されます。ループ中に既にイベントがあるパッドを叩いた場合は、古いイベントは新しいイベントに上書きされます。
3. **SEQ REC** ボタンを押して記録を停止します。
4. **SEQ ON/OFF** ボタンを押して、再生を停止します。もし、エディットモードで、シーケンスの再生・停止を **Play/Stop** や **MIDI Start/Stop** に設定した場合は、**STOP** ボタンを押すか **MIDI Stop** メッセージを受信しないと、記録は停止しません。

編集

シーケンスの編集は、シーケンスが再生中でも停止している間でも行えます。

パッドやステップボタンを使って、イベントの追加や消去を行うには：

1. **SEQ EDIT** ボタンを押して、シーケンス・エディットモードに入ります。
2. 編集したいイベントの**パッド**を押します。現在のパッド番号は**ディスプレイ**の **Track** の隣に表示され、**ステップボタン**にそのパッドのイベントが表示されます。選択されているパッドは、現在のステップにイベントが存在する場合には**緑**に、存在しない場合は**赤**に、それぞれ点灯します。その他のパッドは、現在のステップにイベントが存在する場合には**アンバー**に、存在しない場合は**青**に、それぞれ点灯します。
3. そのパッドのイベントを追加するには、点灯していない**ステップボタン**を押します。イベントを消去するには、点灯している**ステップボタン**を押します。
4. その他のパッドのイベントの追加や消去は、上のステップ 2～3 を繰り返します。

カーソルボタンとデータダイヤルを使って、イベントの追加や消去を行うには：

1. **SEQ EDIT** ボタンを押して、シーケンス・エディットモードに入ります。
2. **ディスプレイ**に、以下のフィールドが表示されます。
 - **Track**：ノートイベントを持つパッドの数を表示します。
 - **Step**：現在とその前後のステップ番号です。
 - **Play**：アスタリスク（*）が表示されているステップはノートイベントが存在します。イベントが存在しない場合は、フィールドは空欄になります。
 - **Velo**：ノートイベントのベロシティ（1～127）です。イベントが存在しない場合は、フィールドには「---」と表示されます。

これらのパラメータは、**カーソルボタン**でフィールドを移動し、**データダイヤル**で値をできます。

シーケンスのすべてのイベントを消去するには：

1. **EDIT** ボタンを押してエディットモードに入ります。
2. **SEQ REC** ボタンを押します。ディスプレイの upper 段に **Sequence Edit** と表示されます。
3. **データダイヤル**で目的のパッド（**1～64**）または **All** を選びます。
4. **データダイヤル**を押すことで確認画面になります。この操作は取り消しできませんのでご注意ください。

ノートイベントのベロシティを編集するには：

1. **SEQ EDIT** ボタンを押して、シーケンス・エディットモードに入ります。
2. 編集したいイベントの**パッド**を押します。現在のパッド番号は**ディスプレイ**の **Track** の隣に表示され、**ステップボタン**にそのパッドのイベントが表示されます。
選択されているパッドは、現在のステップにイベントが存在する場合には**緑**に、存在しない場合は**赤**に、それぞれ点灯します。その他のパッドは、現在のステップにイベントが存在する場合には**アンバー**に、存在しない場合は**青**に、それぞれ点灯します。
3. **左右カーソルボタン**で、**ディスプレイ**の **Step** フィールドに表示されている目的のステップに移動します。
4. **下カーソルボタン**で **Velo** フィールドに移動し、**データダイヤル**で値を変更します（**1～127**）。
5. 他のイベントのベロシティを編集するには、上のステップ 3～4 を繰り返します。

他のパッドのイベントのベロシティを編集するには、

- 目的のパッドを叩き、上のステップ 4 を繰り返します。
- **上カーソルボタン**で **Track** フィールドを選び、**データダイヤル**で目的のパッド番号を選択し、上のステップ 4 を繰り返します。

付録

仕様

パッド：	16 (ベロシティ&プレッシャ対応、感度、スレッシュホールド、ベロシティ・カーブ設定可能、バックライト、4パッドバンク、Note/Program/Program Bank をアサイン可能)
ノブ：	8 (360°回転アサイナブル、3コントロールバンク、CC/Aftertouch/Inc-Dec1/Inc-Dec2 をアサイン可能)
フェーダ：	8 (45mm、3コントロールバンク、CC/Aftertouch をアサイン可能)
アサイナブル・ボタン：	8 (3コントロールバンク、CC/Note/Program/Program Bank/Key Stroke をアサイン可能)
その他ボタン：	17 x ファンクション・ボタン、3 x トランスポートコントロール・ボタン、4 x カーソルボタン、16 x ステップボタン
ディスプレイ：	20 文字 x 4 行
端子：	USB 端子 x 1、AC アダプタ端子 (AC アダプタ別売)、1/8" MIDI 入出力端子 (1/8"-MIDI 変換ケーブル付属)、Kensington ロック
電源：	USB バスパワー、AC-USB アダプタ (別売)、AC アダプタ (別売、6V DC 1A センタ+)
サイズ (W x D x H)：	約 42.2cm x 25.4cm x 4.8cm
重量：	約 1.9kg

仕様は断りなく変更となる場合がございますので、予めご了承ください。

商標およびライセンス

AKAI professional は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Apple および iPad は、Apple Inc. の商標またはサービスマークで、米国およびその他の国々で登録されています。

Avid および Pro Tools は、Avid Technology, Inc. の米国およびその他の国々における商標または登録商標です。

IOS は、Cisco の米国およびその他の国々における登録商標で、ライセンスに基づき使用されています。

Kensington および K & Lcok ロゴは ACCO Brands の登録商標です。

その他のすべての製品名および会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

